

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

.理念に基づく運営

- 1. 理念の共有
- 2. 地域との支えあい
- 3. 理念を実践するための制度の理解と活用
- 4. 理念を実践するための体制
- 5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

- 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
- 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

- 1. 一人ひとりの把握
- 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
- 3. 多機能性を活かした柔軟な支援
- 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

- 1. その人らしい暮らしの支援
- 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

【記入方法】

複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに管理者が介護職員と協議の上記入してください。

次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。

- 項目番号23 初期に築く本人との信頼関係
- 項目番号24 初期に築く家族との信頼関係
- 項目番号25 初期対応の見極めと支援
- 項目番号26 馴染みながらのサービス利用
- 項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援

次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。

- 項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援
- 項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援
- 項目番号60 お金の所持や使うことの支援
- 項目番号61 日常的な外出支援
- 項目番号62 普段行けない場所への外出支援
- 項目番号63 電話や手紙の支援
- 項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 グループホーム かねやま

(ユニット名) _____

記入者(管理者)
氏名 斎藤 幸枝

評価完了日 平成20年11月11日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域密着型の理念として職員全員で話しあい、開所時に作り上げた理念、自分らしくを土台にしたいという思いを運営推進会議で委員の方に伝え検討して頂き、作り上げた。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>新規職員採用時には理念に基づいたケアについて説明し、理解してもらい、職員会議など理念について話しあうようにしている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議での説明や地域の行事に参加し、事業所の実践内容を伝えるようにしている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>地域の方が気軽に声をかけてくださり、収穫した野菜の差し入れがあったり、時には庭のベンチで入居者と雑談をしていただいている。入居者が来客の対応に率先して出ている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地区のクリーン作戦に今年も参加した。地区の運動会、町内の敬老会にご招待をいただき参加する。また地区の高校生がボランティアとしてきてくれ、交流もある。</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の方が立ち寄ってくださることがあり、利用者のプライバシーに十分配慮しながら、事業所の取り組みを説明して、地域の高齢者の暮らしに役立つことを説明している。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の評価結果を確認し、全職員で話し合い自己評価をおこなった。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>毎月の事業所の取り組みなどを方報告したり、地域から見た事業所の印象や意見をいただいて、全職員で共有しサービスの向上につなげている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>主に管理者が町担当者と連絡とり、出向いている。町担当者も事業所への訪問あり。入居者の覚申請書類の手続き代行の実践している。(介護認定更新申請代行、日常生活用品納付券申請代行)入退居状況に報告等。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>利用者が成年後見人制度を活用されている為、職員に権利擁護との違いなどの説明している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>テレビなどで取り上げられることが多い為、職員にはその話題と関連させ、身近な問題として説明している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>止むを得ない離職があり、その後の入職も利用者様には不安を与えないよう引継ぎ時間を十分にとるなどの配慮している。</p>		
5. 人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設外の研修の参加をし推進したり、働きながらの為に日常的に学ぶ姿勢を推進している。書籍を購入し自由に読むことが出来るよう配置している。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>引き続き、グループホーム連絡協議会に入会し、他事業所との交流を図っている。近隣地区の研修会に参加した。運営推進会議を社会福祉協議会の施設を利用させていただいたり、互いの行事を連絡しあい交流場面の設置に取り組んでいる。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩スペースの確保が出来た為、職員が互いに声かけし休憩を取っている。運営者には事業所内の様子や職員の意見を電話や来所時に伝えている。</p>		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は外部研修の参加に協力している。定期的に来訪し職員の勤務姿勢、業務への取り組み姿勢を把握している。職員の心身の健康状態の科確保の為に健康診断を行っている。福利厚生充実の為に同一法人が運営する温泉施設の割引き利用を伝えている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の思いに添いながら、出来ない部分をお手伝いしながら支えあう関係づくりをしている。尊厳の気持ちを年頭におき、利用者との雑談の中にも教えて頂くという気持ちで接している。</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日常の様子や暮らしぶりを電話や面会時に報告している。生活を共にしている職員の思いも家族に伝えることにより、一緒に支えているという協力関係が築きあげられている。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>様々な家庭事情があるため、一方的に理解を求めるのではなく、家族の気持ちも推し量り、利用者の家族への思いを丁寧に伝え、お互いの距離が遠くならないよう支援している。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>引き続き、利用者の自宅、友人宅訪問を続けている。お盆には自宅へ戻られたり、お墓参りに行っている。地区行事に参加している為かおなじみになっている方もあり、外のベンチにて雑談されている。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者同士の相性をスタッフは十分に理解しており、利用者同士が円滑になるよう働きかけている。身体の不自由な利用者には「気をつけて歩かっしえよ」気を使われる姿がある。</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>長期入院された方へ他の利用者の作った千羽鶴を持ちお見舞いに行った。退去された方のご家族もホームに立ち寄ってくださり、「このホームでよかった」との言葉を頂いた。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>スタッフは生活を共にする中で本人の思いを押し量り、気持ちを汲みその都度対応している。意思疎通が困難な方には本人の言動、表情などから希望の把握の努めている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所前の実態調査、入所ごの面会時にご家族やご本人からのお話を伺った情報をスタッフが共有している。スタッフとの雑談の中からも情報を得ている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>毎日の生活状況、健康状態はケース記録やバイタル表に記録している。一人ひとりの詳細な記録を心がけ、スタッフ間の申し送りをしっかり行い、本人の全体像を把握するよう努めている。職員間の申し送り簿は続けており、細かい情報の共有を図っている。一人ひとりの力をスタッフは把握し共有している。</p>	
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族との関わりの中で思いや意見を取り入れ、反映している。毎月、モニタリング、アセスメントを行い、職員全体で本人の思いに添った内容になるよう作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月のモニタリングや期間ごとのカンファレンスを実施している。状態変化時は家族に連絡し話し合い、書面に残している。遠方に暮らす家族に対しては電話や面会時などに話し合いをしている。</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別にファイルを用意し、日々のケース記録、健康状態など介護計画に添って記録している。スタッフとの関わりの中で色々な表情をみせることがあり、その気づきや状態変化は個々のケース記録に記載し、職員は情報を共有している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)</p>	/	/	/
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>引き続き警察や消防署の相互訪問をお願いしている。今年度は高校生のボランティアの受け入れも行った。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>近くの温泉施設は頻繁に利用している。社会福祉協議会主催の生き生きクラブへの参加の打ち合わせをしている。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括センターとは事有るごとに連絡を取り合っている。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所以前からの主治医にて定期受診している。付き添う家族や職員より本人の状態を適切に説明し指示を入れる。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>基本的には主治医に相談している。本人の状態が変化したときには主治医より専門医の紹介を仰ぎ受診している。他の医療機関を受診した場合はその報告を必ずしている。</p>		
45				
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>利用者が入院した場合、家族との連絡を密にしたり、医療機関との情報交換や相談を行った。入院の際は家族に協力していただいた。入院時には利用者の支援方法や身体状況に関する情報を医療機関へ提供した。また医療相談室と連絡を取り回復状況の確認を行っている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に救急時や終末期について家族の意向を確認している。施設としての限界についても十分に説明し同意を得ている。救急搬送される入居者様があり、その際本人様の思いやご家族の気持ちの変化に注意を払い援助に努めている。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>協力医療機関は休日、夜間対応、入院は困難な為、入居時家族になどに対し救急時や終末期の意向を確認している。また急変時の家族等への連絡方法全職員で話し合い周知している。急変時の対応や手順は経験者より説明を受けている。その際の持ち出す書類なども検討を重ねている。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>まだ他の事業所への転居は無い。医療機関への入院では入居中の健康状態、注意の必要な転移について家族に承諾の上情報を提供している。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の記録などは引き続き、部外者の目に触れないよう官吏保管し、流出には十分注意している。失欣や着衣が完全に行えない方に対してたの利用者の目に触れないよう、また羞恥心に配慮して援助している。利用者の尊厳についてはスタッフも理解しており、プライバシーを損ねないような対応をしている。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者が思いを言葉に上手く表出できない方へは他者に気兼ねしないよう、職員が訪室し、話を伺ったり、している。</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな一日の流れはあるが個々利用者の状態や思いに配慮しながら散歩、買い物など柔軟な対応をしている。限られた職員配置でも利用者の気持ちを尊重し出来るだけ個性のある支援行っている。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>ご本人の希望される美容室、理容室へ行く支援をしている。着衣の乱れを不快にならないようさり気なく整える対応している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている		
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>お金を持っている事で安心される利用者には財布を持っていただいております、金銭管理が出来る利用者には買い物の際、自分でお金を払っていただいております。基本的には施設側が管理しており外出時本人へ渡し、使用時は金種の確認や出し入れの支援、計算などの援助をしています。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>ホーム周辺の散歩や希望される時には近くの商店への買い物、町内外にドライブに行ったりしている。利用者の友人、知人の協力を得て訪問している。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>利用者の希望に応じ、個別又は気の合った利用者同での買い物、墓参り、自宅へ出掛けている。家族面会時は近くの食堂へ出掛けている。時には家族のご協力を頂いている。</p>		
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>希望に応じ電話をかけた、取次ぎを行っている。プライバシーに配慮し、事務所や子機を使用し自室にての対応も支援している。</p>		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>面会時間は特に定めずご家族などに、気軽に来所していただくよう伝えている。面会は他利用者に気兼ねないよう居室で行ってもらったり、フロアでもソファにご家族だけでゆっくり過ごしていただくよう配慮している。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>ベッドからの転落防止、又は起立時の補助のためベッド柵を一点のみ使用している。柵2本使用している方がいるがご本人希望であるため、同意書を得て使用している。柵は起立のための補助として使用するよう促している。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中玄関の鍵はかけずに対応している。閉じ込められる弊害を職員も理解しており、利用者が外出される場合は止めず、さり気なく声をかけたり、時間をずらし偶然に出会ったような対応している。地域の方も利用者の居場所を教えてください。夜間、鍵をかけられる方には巡視時鍵を開けることも了解を得ている。</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員は利用者と同じ空間で記録などの事務作業を行いながらさり気なく全員の状況を把握している。日中居室で過ごされている場合は時々声かけし様子を確認している。夜間は定時の巡回のほか、物音がした時に所在や様子を把握している。訪室の際は必ずロックや声掛けしている。</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>利用者の状態に応じて保管するもの、注意しながらの使用が出来るものなどに分けて管理している。利用者の年齢層が幅広いこともあり、針やはさみをご自分で管理されている方も居るため使用された場合は確実に元に戻すよう声掛け支援は行っている。薬に関しては全て施設側で管理している。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりの身体状況を把握し、新しく出たヒヤリハットも十分に検討し事故防止につなげている。事故が発生した場合、事故報告書を出し職員全員が確認し、申し送りなどでも更に確認しあい、再発防止に取り組んでいる。</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>急変時のマニュアルと連絡網は掲示している。急変時の対応やAEDの取り扱い方を朝のミーティングや職員会議などで話し合っている。</p>		
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練を4回実施した。運営推進会議で災害時の協力をお願いし、委員の方の了解を得る。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>事故が発生した時は早急に家族に連絡し、事故の状況や怪我の有無を伝えている。その際、高齢者の生活にはリスクがあることを伝え、日常の介護の内容を報告したり、本人の状態を知っていただき、利用者の活動を制限せず、生活できるよう支援している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日定時にバイタルチェック、食事量、排泄回数、体重測定等記録している。又いつもと違うと感じた時には本人に体調を確認したり、様子観察をし、必要に応じ早急に受診している。全職員が記録や申し送りにて情報を共有している。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬時、本人に手渡したり、職員が直接服薬介助をさせて頂いたり、内服の確認を行っている。受診状況、内服一覧のファイルをしている。状態変化時には医療機関に情報提供を行ったり、受診に同行させて頂き、説明をしている。使用している薬の目的や副作用については薬指示書やインターネットで情報収集し職員周知を図っている。またいつでも副作用の確認が出来るよう個人ファイルに薬指示書をファイルし確認できるようにしている。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>まず食事などで緩和できることがあればと考え、ヨーグルトや牛乳、食物繊維の多く含まれているを提供したり、朝の体操、散歩など楽しみながらの運動量を増やし、自然な排便を促す。中には病院からの下剤を服用している方もいる。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後声かけし、出来ない方に対しては職員が介助し行っている。拒否のある方に対しては時間をずらしたり工夫して声かけを行っている義歯洗浄も上下外して本人にやって頂いたり、足りない部分は自尊心を傷つけないよう職員が補助している。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>夏場などクーラーポットを置き、自由に飲用できるよう配慮している。食事も嗜好や食べやすさなど考慮して提供している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを確認したり、外出した際の手洗いやうがいを励行している。来所された方にも玄関に手指消毒やマスクをして頂けるよう設置している。入浴についても一人ずつお湯を入れ替えている。失禁した衣類などは漂白剤で消毒してから洗濯している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は前日に配達して頂き、新鮮なうちに調理している。特に夏場の管理には注意して賞味期限切れなどの食材は内容冷蔵庫の確認を怠らないよう配慮している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にあるベンチでの休憩には利用者同士誘い合って出られる事もあり、定着している。駐車場の一角には利用者が手入れしてくださる花壇には地域の方もよって下さる。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間であるフロアの家具の配置は極端には変えず、利用者が移動しやすいよう設置している。季節の草花を飾ったり、行事の時の写真を貼ったりして。玄関の壁には季節ごとに折り紙で作った装飾をしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	取り外し可能なテーブル、マット、椅子を窓側にセットし時には外を見ながらくつろげるスペースを作っている。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホームでとった写真をご自分なりに壁に貼り付けたりして居室内を飾っている。居室内の家具も利用者の意見を聞き一緒に配置替えをしている。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>朝、必ず訪室し、利用者に声掛けし換気を促したり、直接換気をさせていただいている。自力にて居室内の空調調節を行っている方へはまずご自分出に調整をして頂いたり、直接、適温調整をするなどの配慮をしている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自宅ではシルバーカーを使われていた方がホームでは杖のみで歩行可能であるなど自立できる空間である。又ご希望により居室内にポータブルトイレを設置し夜間のみ利用していただいている。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>個々の居室に設置した表札により、居室間違えは少ない。方言やなまりなど馴染みの言葉を使うことによって理解をして頂き、失敗や混乱を防いでいる。</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ホーム裏の畑での作業で体を動かしたり、庭で洗濯物干しをしたりベンチで日光浴をしている。玄関先にはプランターに植えた花があり、毎日に日課として手入れをされている。</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の利用者2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない	その他()
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	その他()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族2/3くらいと 家族1/3くらいと ほとんどできていない	その他()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	その他()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	その他()
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3 くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	その他()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開所2年目の迎え、入居者様の顔ぶれも多少変わりましたが、どの入居者様もこの地域に馴染まれ地域の行事には率先して参加されています。ホーム前に地域の方の畑が多くあり、挨拶を欠かさずに行うことにより、地域の方々も受け入れてくださるようになりました。家族の面会も頻繁にあり、一緒に外出や外食を楽しまれています。近所の温泉施設へも定期的に利用し温泉入浴を楽しまれています。今後も入居者様が自宅のような安心のある生活を送れるよう職員一同、日々自分に問いかけ、より良いサービスの提供に努めたいと思います。